

第18回 磁粉・浸透・目視部門・電磁気応用部門・漏れ試験部門 合同シンポジウム「表面探傷技術による健全性診断」講演募集

(一社)日本非破壊検査協会の旧表面探傷分科会を母体とする磁粉・浸透・目視部門・電磁気応用部門・漏れ試験部門では、表面3部門として合同で年1回のオープンシンポジウムを開催しております。本年度も第18回となるシンポジウムを、標記テーマにて開催することとなりました。3部門の委員や当協会会員にかぎらず、広く講演発表を募集致します。表面探傷技術や健全性診断に関わるものであれば、どのようなテーマでも結構ですので、奮ってご応募頂きますようお願い致します。

非破壊検査技術は、近年、エネルギー施設や化学プラントなどに加えて、いわゆる産業基盤としてのインフラストラクチャーの健全性診断へと、その対象範囲を広げつつあります。戦後の急激な経済成長とともに建設され、その老朽化が表面化しつつある、わが国のインフラストラクチャーにおいては、それらの健全性診断が極めて今日的な課題となっており、この分野における非破壊検査技術への期待は、ますます高まっています。

電場・磁場から電磁波・光、液体から気体までも含めて、表面における様々な現象や応答を手がかりとする検査法として多様な手法を培ってきた表面探傷分野こそが、これまで表面の目視検査に頼ってきた構造物などの健全性診断においても、より信頼性のある定量的な検査法を開発・提供していかなければならないと考えています。

本シンポジウムでは、このような各種構造物や設備の健全性診断と、その分野における表面探傷技術に焦点をあて、各方面から広く講演を募集して、現時点における技術の水準と今後の動向を詳らかにするとともに、健全性診断において表面探傷技術が果たすべき役割などについても、幅広く議論して頂く機会となることを望んでおります。

講演募集テーマ

- (1) 健全性診断への適用に向けた表面探傷技術の高度化
 - 1) 磁粉・浸透・漏洩磁束・渦電流・漏れ試験における新技術の開発
 - 2) 各種の技法の高度化、技術改良・応用
 - 3) 信号処理技術、イメージング技術における革新
- (2) 広い領域の健全性診断に有利な表面探傷技術
 - 1) 目視検査および画像による診断
 - 2) マイクロ波、赤外線、その他による方法
- (3) 表面探傷技術による健全性診断の適用事例
 - 1) 土木分野への適用（橋梁、道路、トンネルなどの各種土木構造物）
 - 2) 建築分野への適用（文化財建築なども含む）
 - 3) 各種プラント設備への適用（鉄鋼、エネルギー施設、化学プラントなど）
 - 4) その他の機器や設備への適用
- (4) 表面探傷関連の規格の動向

日 程：平成27年3月9日（月）・10日（火）

会 場：メルパルク京都（JR京都駅ビル東北側に隣接）

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13

主 催：（一社）日本非破壊検査協会

電磁気応用部門、磁粉・浸透・目視部門、漏れ試験部門

協 賛：関連学協会依頼予定

参加費 ：	JSNDI 正会員	4,000 円
	登壇者	4,000 円
	学生会員	3,000 円
	協賛学会会員	6,000 円
	非会員	一般 8,000 円
		学生 4,000 円

懇親会：3月9日（月）夕刻に予定（会費 5,000円）

講演申込締切日：平成26年12月24日（水）

原稿提出締切日：平成27年 2月16日（月）厳守願います。

（原稿枚数：A4版（刷上りB5版）6頁以内の偶数頁）

参加申込締切日：平成27年 2月27日（金）

申込方法：協会ホームページ（URL：<http://www.jsndi.jp/>）からお申し込み下さい。
講演申込（後日の概要原稿提出）から参加申込まで、協会の「**学術申込 Web システム**」をご利用下さい。

問合せ先：〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目25-14 立花アネックスビル10階
（一社）日本非破壊検査協会 学術課「表面探傷シンポジウム」係

TEL：03-5609-4015 E-mail：nakamura@jsndi.or.jp